



「わたしが求めるもの」

マタイ福音書九章9〜13節

牧師 安藤 脩

あなたが求めているものは何ですか？  
ここに、安定した職業、豊かな生活を捨てて、本当の生き甲斐、平安、喜びの人生を得た人物が記されています。彼の名はマタイです。

マタイは自分を「徴税人マタイ」(十:3)と書いています。これは、自分がどんな所から救われたかを、決して忘れなかつた証拠であります。マタイにとつて、救いがどんなに大きな喜びであり、感謝であつたか、生涯をイエス様に委ねた源がここにあることを示しています。

マタイの職業は徴税人でした。徴税人は嫌われ者でした。ユダヤ人は、神こそが支配者であり王であると考えていました。それで納めるべきは神へ、その他は、神の主権を侵すことであると考えていたのです。だからローマの手先となつている徴税人は裏切り者であり、会堂に入る

2013年秋号

日本キリスト教団  
横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区  
岡村 4-25-39

TEL.045(751)3917

牧師

安藤 脩

ことを許されませんでした。これは市民権がないということであり、証人になる資格もなく、盗賊、殺人者と同格なのです。そのように嫌われ、罪人と呼ばれつつもこの仕事を続けるのは、安定と富の豊かさの故でした。彼はこの世的には成功者でした。しかし、収税所に座つていても満足感はありませんでした。そこにイエス様が来られて声を掛けてくださったのです。(：9)

マタイはイエス様の話を群衆に混じつて、こつそり聞きに行つたこともあつたでしょう。法律学者やフアリサイ人が嫌う罪人、自分のような嫌われ者とも交わり、分け隔てなさらないイエス様に心動かれていました。できるなら、今からでも人生をやり直したいと思うようになっていました。その憧れのイエス様に声を掛けられたのです。マタイの決断は早かつた。マタイはイエス様の弟子になる覚悟を決め、生活の基盤である収税所を後にしてイエス様に従いました。

マタイにとつてイエス様を家に招き、食事を共にするということは何と喜ばしいことだったでしょう。マタイは嬉しくて、自分の仲間や、人々からは罪人と蔑まれていた人々をも招きました。

早速、自分達は清いと自負しているフアリサイ派の人々が来て弟子たちに言いました。「なぜ、あなたたちの先生は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」(：11)その質問の根底には、罪人と交わるイエス様は汚れ、神のご奉仕など出来ないのではないか？との蔑みがありました。イエス様は言われました。「医者をお要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。：わたしに来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」(：12〜13)病人でなければ医者には行きません。でも汚れという神に対する罪を持つていない人がいるのでしょうか？「私には罪など無い」と言うならば、それは傲慢です。罪に対して鈍感であると言えましよう。イエス様は罪を裁くために来たのではなく、ご自身をいけにえとして神に奉げ、罪人を執り成すために来られたのです。イエス様は、罪を悔い改めて、人生を神の前にやり直したいと願う者のために来られ、今、招いておられるのです。

証し

## いつ信じるか。 今でしよう！

坂本 浩

今回のオープン礼拝案内ハガキ作成のため、担当者から証し題を聞かれたところ、とっさには思い浮かばず、しばらく考えて出てきた言葉が「いつ信じるか。今でしよう！」でした。現在メディアなどで、ある予備校講師が「いつやるか。今でしよう！」と受験生に向けた言葉が流行っているようですが、四半世紀前に流行っていたらきつとこんな気持ちだったに違いないと思いました。

小学3年生の時、父の仕事の関係で横浜に引っ越してきた後、母が救われてからクリスチャンホームの友達に誘われて横浜岡村教会に通うようになりました。当時教会には多くの子どもが集い、男子だけでも野球チームが作れるほどで、本当に楽しい時代でした。が、やはりお決まりのコースで、中学、高校、大学に進むと足が遠のいて行きました。しかしどこか離れがたい感覚があり、「自分はいきたくないが、母が来い来いと言うので仕方なく」といった言い訳をしながら、時折教会に行っていたことを思い出しま

す。教会では、皆さんが優しく迎えてくれ、声を掛けられると恥かしそうに返事をしながらも、繋がっているという喜びを心で感じていました。幸い父は「自分は無宗教だ」と言う考えでしたから、特に支障も無く、ごく自然にキリスト教に接することができました。そして洗礼は聖書をよく読んで全てが理解できてから受けようと、何となくですが心に決めていたのでした。

しかし、主のご計画は違ったのです。大学卒業後直ぐに人生最大の試練がやってきました。OA機器販売会社に就職したのですが、2週間ほどで飛び込み営業をさせられたことに苦痛を感じ、公園のベンチに座り込んで下を向いて「おれはなにやってんだろ」と出口の見えない迷路に迷い込んでしまった様な感じでした。そんな状態が続くわけもなく、5月のゴールデンウィーク明けに会社を辞める事にしました。当然ショックは大きかったのですが、幸い時間はたっぷりありましたので、これからの生き方についてじっくり考える事ができました。そこで、「あれ？オレは何をしたかったのだろうか。これまで真剣に自分の将来を考えて

いたわけでもないし、みんなと違った変わった人生も良いのではないか。それじゃあ以前から心に思っていたイエス様を本気で信じてみようか。人生を委ねてみようか。」という事で「いつ信じるか。今でしよう！」になったわけです。

そして、自分は今何が一番したいかを考え、大学時代にゴルフ部に入っていたのですが、自分の限界を見てみたいと思いい、栃木のゴルフ場にプロゴルファーの練習生として就職することに決めました。聖書は通読さえしていない状態でしたが、準備会を経て、その年の十二月、クリスマス礼拝にて洗礼を受けさせていただきました。そして直ぐにゴルフ場に入りました。練習最後のランニングを終え、誰もいない芝生の上で大の字に寝転がり、満天の星空を眺めつつ、主の導きと恵みに感謝しながら、大きな喜びに包まれていたことを今でも鮮明に思い出します。



オープン礼拝での証し

証し

## ただ一つの真理を求め、生きる

清水ヶ丘教会員 高橋勇樹

私は、幼少の時から人一倍気が弱く臆病で有った為、小学校から高校生の時期まで、集団でのいじめの標的とされ続けてきました。肉体的な暴力や、言葉や、精神的暴力も日常茶飯事でした。彼らによって大切な持ち物やお金、青春の思い出すべてを、理不尽に奪われ続けました。与えられたのは、今なお心に深く残る屈辱感と心の傷だけでした。大学に入学しても、元が根暗で人付き合いが出来ない性分のため、友達らしい友達も居らず、気が付けば何時も孤独に、誰かからの誘いを、惨めに虚しく待ち続ける日々を過ごしていました。私には、青春の思い出は何一つありません。言うなれば明らかに負け組みでした。社会人になり二十代の頃も神やキリストに全くの無関心で、己の力と才能のみで社会の勝組に成ってみせると、本気で思い上がっていました。それまでの間はとても人には言えない様な、人として失格な行為を数多く行い続け、それに対する罪悪感などなんら感じてはいませんでした。そんな性根の腐っ

ていた私が、紆余曲折を経て、幼い頃通っていた清水ヶ丘教会に現在繋がり続けています。教会に通い、受洗間もない頃は形だけの礼拝出席と讚美のみでした。その為、自分の幼稚さのせいで仕事を転々とし、周囲の期待と信頼、そして自分の可能性を裏切り続けていました。しかし、仕事を通じて私なりの様々な体験を得て漸く少しずつ、心が生きる意味と、神を慕い求めるように変えられてゆきました。それと同時に教会を通じ、多くの善き方々との出会いも経験しました。これまででは、誰からも邪魔扱いされ続け、仮に友人が出来ても、それは常に上辺だけで、蔭で互いの悪口を言い合い喜んでおりませんでした。しかし教会を通じた善き方々は、そんな私と共に過す事を楽しみとし、生まれて初めて私の存在を必要としてくれました。まるで昔から共に寄り添い続けているような感覚でした。そして、受洗してから三年が経ちますが、素敵な思い出も、悩みも煩いも色々ありました。でも善き事も、不都合な事も私の心が折れた日も、全て日々心が変えられていく為に有ると強く信じたいで

す。だからこそ己の拙い能力を誇示せず、私を永遠の命へと導いてくれるイエス様と向き合い生涯を全うしたいのです。かつての私は、なすべき責務を平然とはぐらかし、何時も楽で安易な道へ逃げてばかりいました。でも今は断じてそんな腐った自分に戻りたくありません。無論、元が弱い人間ですから恐れも不安も強く内包しています。だとしても私は、イエス様に倣い導かれる事にこそ、揺るぎない幸せを得る唯一にして最善の方法だと強く信じたいです。そして、イエス様によって、人生も教会生活も年月が経つ毎に、益々深みが増し、味わい深く豊かな人生を過せるようになって、たとえこの先色々有るとしてもそう強く信じたいです。(イブニングチャペルにおいて)



プレゼントされた色紙を持って

## 松原湖バイブル キャンプに行って



### 3泊4日のキャンプ

5年 田原 寧々

7月26日～29日まで、私は、バイブルキャンプに参加していた。このキャンプには、私と玲奈の他、北海道から沖縄までの教会の人が30人位いました。その他キャンプの先生たちの他にVBS（讚美グループ）という人も大勢いました。私たちは、決心カードにきたくない部分を見せる」という決心をしました。その後は、クラフトタイムと言う、工作の時があったり、バイブルスタディと言う聖書の勉強をしました。VBSの人たちと一緒にご飯をたべました。みんなとおしゃべりしたり、ブレスレットを作ったり、キャンプファイヤーをしたのが楽しかったです。あつという間に3泊4日が終わってしまいました。

来年もあることを楽しみにしています。それに、歌と踊りも一杯覚えたので、機会があったら、玲奈と二人で踊ってみたいです。



## キャンプで学んだ事、 楽しかった事

5年 大柳 玲奈

7月26日から3泊4日で松原湖バイブルキャンプに行って来ました。横浜岡村教会からは2人だけの参加でしたが、他の教会からもたくさん来ていたので、友達も沢山できました。

松原湖に着き、キャンプへ行き、もらったTシャツに着がえました。そして、ウエルカムタイムで、さんび、ダンスを教えてもらいました。その後、キャンプで自己紹介をしました。その中に一人ダウン症の子がいました。

日曜日にフリータイムがありました。その時に各キャンプずつでさんび、ダンスを一曲覚ええました。私たちは、「say say」という曲でした。この曲はキャンプ・ファイヤーで最初に発表しました。私は少し、失敗してしまいました。最後までがんばって踊りました。その後、土曜日に書いた決心カードというのをみんなの前で一人ずつ発表しました。「私は、どんなにきたない心でも神様を受け入れること」を決心しました。それは、

愛一郎先生の話の中で、きたない心でも、それを認めるのが大切だと言っていたからです。

このキャンプに行って、神様の事がもっと深く知れたのでよかったです。



たのしかったバイブルキャンプ



キャビンで

# JC夏季学校報告



8月3日(土)〜4日(日)1泊2日でJ  
Cの夏季学校が教会で行われました。子  
ども12名とスタッフ8名の参加でした。  
今年「かえられたペテロさん」と題し  
てスタッフ手作りのペープサートが用意  
され、子ども達に大人気でした。その他  
に「空気砲」をペットボトルで作りと  
ても楽しく遊びました。又、アイスクリ  
ームを手作りして食べましたが、これが、  
一番の人気でした。夕方からみんなでカ  
レー作り。おいしかったです。映画会あ  
り、花火ありの1泊にしては、盛り沢山  
の夏季学校でした。夜はぐっすりとい人  
も起きないで休むことが出来ました。子  
ども達一人一人を  
神様が豊かに育て  
て下さいますよう  
に。



みんなでカレー作り



ペープサート劇を見たあとに

イフニ  
ーディング・チャペル  
一周年を祝って

牧師 安藤 脩

私は、横浜岡村教会に赴任するまでに、  
3つの教会で奉仕しました。どの教会で  
も夕礼拝を行ってきました。岡村教会に  
夕礼拝がなかったもので、何か申し訳ない  
なーと言う気持ちと、ホッとした気持ち  
がありました。

時が流れ、会堂建築とその借入金返  
済を終えました。大きな一区切りとなっ  
た一昨年度、召天者と転出者で11名減員  
となりました。このままではいけない。  
多くの人の救いを願って、移転、新会堂  
建築をしたのだから、と祈ったとき、夕  
礼拝を開始する事を示されました。教会  
員はそんなに乗り気ではない。妻と二人  
であったとしても開拓伝道のつもりでや  
ろうと、教会総会にはかり、昨年5月  
20日よりスタートしました。確かに夫婦  
だけの時もありました。でも、朝礼拝に  
出席出来なかった人が来たり、新来会者  
もあって、一年目を出席平均5名で終え  
ることが出来ました。

今年度からは、わかえだ会のメンバ  
ーが賛美奉仕で加わってくれています。教

2013年 5月26日(日)



持ち寄りお祝い夕食会



お祝い会のあと、高橋くんを囲んで

会活動として定着したように思い、嬉し  
く、新たな力が加わり感謝です。



### やっと出来ました。感謝！

福島・本宮教会 牧師 菊地一男  
 念願の新礼拝堂が、やっと出来ました。決断から1年10か月。感謝です。横浜岡村教会諸兄弟の献身(献金・バザー売上、絵葉書他)とお祈りに心からの感謝とお礼を申し上げます。(詳細は、献堂礼拝式「小冊子」をご覧ください)

着任したのは、2011年9月。大震災半年後でした。築50数年の礼拝堂は、床が傾き、あと数回、大きな地震が来たらば、倒壊と言う状況でした。ほぼ時を同じくして、隣接する阿武隈川を管轄する国交省から、堤防護岸の為に土地を買収したいと言う話があり、教会役員会は、早急に協議し、結論を出した次第です。その結果、翌10月に、役員会は、土地の一部売却と新礼拝堂建設をセットで進める決断を致しました。

11月には、横浜の懇意にしている建築士(基督者)が相談に乗って下さることになり、話しは、一挙に進みました。もちろん、試練・困難もありました。原発



本宮教会 新会堂

## 祝 おめでとう

から50キロ、放射能除染の問題と幼稚園保護者対応、又、資金不足等、課題山積でした。しかし、主は、道を開いてくださいました。全国の諸教会も、私たちが助けて下さいました。日本基督教団の教会で良かった、この時、教団に属するの幸いを噛みしめました。教団に属する約2割の教会が、2千円、3千円と溢れるほどに献金を送って下さったのです。

この教会は、一言で言いますと、「祈りの詰まった教会」です。献堂礼拝式の朝の礼拝では、2人の受洗者と、4人の転入会者があり、教会員は、8人から14人に増えました。今、「あなたを孤児とほしくない」と言う主の約束の真実を噛みしめています。感謝。



### 華舟・ジャパンエキスポに参加 (フランス・パリ)



華舟・ブースでの活動

安藤華舟は7月2日から10日まで、パリに行って来ました。これは、4日からのジャパンエキスポに参加する為でした。私は、日本伝統部門で「墨彩画」の作品を紹介しました。4日間で23万人という人が来られ、その人数に圧倒されました。

「墨彩画」を知って頂こうと、会期中ひたすら筆を持って花を描いていました。沢山の方々が興味を持って立ち止まって、作品を買って下さり、色々な質問をしてくれました。体験コーナーも開き、実際に筆と墨で「竹」を描いてもらいました。

(7ページ下段へ)

# 横浜岡村教会 創立64周年を記念して

早園 貞子

横浜岡村教会の設立は、一人の姉妹が根岸橋の町内会館で、日曜学校を開いたのが始まりです。その働きを知ったラング宣教師、倉持芳雄牧師の協力によって、梅沢幸太郎牧師を招聘し、1949年、横浜医療宣教師団根岸橋教会として設立されました。しかし、町内会館は、5年間の借用期間でした。熱心な祈りが捧げられ3丁目の土地が与えられました。外部から多くの献金があり、1955年、横浜岡村教会が献堂されたのです。献堂10周年には、1種教会となり、1979年には、利川栄宣牧師を副牧師として迎えしました。

1974年、創立25周年をお祝いし、1979年に梅沢牧師は、30年の牧会を終え、隠退されました。1年間の無牧を経験して、野沢満雄牧師が着任されました。野沢牧師は、13年間の牧会でした。その間に、アシユラム、ホテル聖研、特別伝道礼拝に、福音歌手・胡美芳姉、ハーベストの中川健一牧師等を招いて、教会員の成長の為に精力的に奉仕して下さいました。

1993年、安藤脩牧師一家が着任さ

れ、6年目に創立50周年のお祝いをしました。そして、新会堂建築、創立60周年のお祝い等、大きな行事が続きました。しかし、そのことを通して、皆の心が一致したと思います。安藤牧師が祈って開いたイブニングチャペルも外部から出席される方もあり、感謝です。これからも神様の御心にかなった教会として成長するよう祈ります。



旧横浜岡村教会



創立60周年での全体写真



お店で買い物



幸枝とレストランで

## 思い出アルバム



セーヌ川クルーズ  
(エッフェル塔)



ものすごい人々



注文の絵を描いて

とつても喜んで頂けたので、よかったです。思っています。途中から、娘の幸枝も加わり、一緒に現地を体感できました。多くの方が祈って下さった事に感謝いたします。

9～11月行事予定

9月

- 毎週金曜日 ラング記念聖書学校
- 8日 オープン礼拝(ギデオンラリー)
- 10日 三教会交流委員会(横浜菊名)
- 15日 敬老祝福式・祝会
- 16～18日 関東アシュラム(箱根)
- 20日 韓日合同礼拝(在日大韓横浜)
- 21日 マリア会交わり会
- 24日 田崎宅家庭集会
- 27日 藤山宅家庭祈祷会
- 29日 信徒研修・懇談会

10月

- 6日 世界聖餐日
- 15日 田崎宅家庭集会
- 16日 三教会統一祈祷課題祈祷会
- 19～20日 秋の特別伝道集会
- 25日 藤山宅家庭祈祷会

11月

- 3日 召天者記念礼拝・愛餐会
- 9日 岡村バザー
- 9日 墨彩画教室展覧会
- 10日 こども祝福式
- 12日 三教会交流委員会(清水ヶ丘)
- 19日 田崎宅家庭集会
- 24日 収穫感謝日(教会全体清掃)
- 29日 藤山宅家庭祈祷会
- (毎月第1主日 聖餐式、役員会)
- (毎月第4主日 各会の定例会)



JCの窓 (ジュニアチャーチ)

「1泊2日の夏季学校」

今年の夏季学校は低学年の参加が多かったです。新しい子どもたちです。新しい子どもたち

もいて、とても賑やかでした。聖書の話聞き楽しく制作し、食事と一緒に作り、祝されたひと時でした。

(子ども達のアンケートより)

夏季学校で楽しかった事ベスト5

① アイス作り すぐくおいしかった。

家でつくりたい。

② ペーパーサート かわいかった。自分も作りた。

③ カレー作り チョーおいしかった。

④ 空気砲作り 新しいはつけんがあった。

⑤ 花火 たのしかった。



ちなみに、ほかには映画会・自己紹介記憶ゲーム・寝るとき・お風呂・ドツチボールがありました。

スタッフ記



ペーパーサートのあとの安藤牧師のおはなし



集会案内

○秋の特別集会

10月19日(土)～20日(日)

テーマ「心の目を開かれ」

講師・池原三善師

友人・ご家族を誘っておいで下さい。

○第8回岡村バザー

11月9日(土)AM11:00より

献品をお願いいたします。

楽しいバザーにしましょう!



編集後記

暑い暑い夏が続いていますが、蝉の音があまり聞こえないのが、気にかかります。小さい頃、よく蝉を探りました。蝉は突然家の中に飛び込んできたりして身近なものでした。終末期、大きく何かが変化しているのを感じます。私たち、神様の前に静まって、御声をはっきり聞いて行きましょう。

追われながらも秋号が出せました。感謝。(Y・A)

